



カトリック正義と平和協議会 90min. 学習会

# 今、学校現場では どうなる教育 子どもたちと先生は大丈夫??…

さくらい みきじ

講師 櫻井 幹二さん

(前・北海道高等学校教職員組合委員長)

この3月に小・中学校などの新しい「学習指導要領」が告示されました。「道徳」が教科となり、評価は先生がする…そんなことできるの?と疑問の声が上がっています。

第一次安倍政権時代、「教育基本法」に「愛国心」を盛り込ませたものに基づき、学校教育の場での具体化ではないかと心配です。

私たちは、子どもや孫たちが政権の考える社会に都合よいロボットになるのではなく、自分たちで主体的に「人間らしく生きる力を得る」よう育ててほしいと望んでいます。

今も現役で、子どもたちに心を寄せて教壇に立ってらっしゃる  
櫻井先生のお話を伺い考えてみましょう。



## 《講師紹介》

1953年、栃木県小山市生まれ、64歳。

高校の国語教師。現役時代は、組合活動と高校演劇の指導に明け暮れていました。

2007年4月～2013年3月、北海道高等学校教職員組合委員長。

現在、再任用教員として札幌あすかぜ高校に勤務。あわせて北海道高等学校教職員センター(高教組) 附属教育研究所・相談所の事務局長をつとめています。

同郷の先達、田中正造を敬愛しており、及ばぬまでも何とか彼の精神を受け継ぎたいと思っています。



日時: 2017年7月25日(火) 18:30～20:00

会場: 聖ベネディクトハウス (中央区北1条東6丁目北一条教会・東隣)

工事中にて  
駐車場は  
ありません。

参加費 無料

主催: カトリック札幌地区正義と平和協議会

問合せ カトリック札幌地区正義と平和協議会 松永 武 011-864-5526